

カトリック河原町教会だより

2013年3月

ご復活



十字架の道行 第15留
河原町教会ステンドグラス

ベネディクト16世 教皇職辞任を発表

教皇ベネディクト16世は2月11日、バチカンで開かれた枢機卿会議で、高齢による体力の衰えを理由に、教皇職を2月28日で退任すると発表されました。

教皇は「2005年4月19日に枢機卿方から託された聖ペトロの後継者としてのローマの司教職を辞任することを宣言します。

これによってペトロの使徒座は、2013年2月28日20時をもって空位となり、新たな教皇を選出するコンクラーベが、しかるべき方々によって開かれることとなります」と語られました。



復活祭

3月28日(木)	聖木曜日	主の晩餐	19時
3月29日(金)	聖金曜日	主の受難	19時
3月30日(土)	聖土曜日	復活徹夜祭	19時
3月31日(日)	復活の主日	ミサ	10時半

ミサ後親睦会 前庭広場



小立花忠助祭 司祭叙階式

3月20日(水・春分の日) 11時
式後お祝いの会 ヴィリオンホール

十字架の道行

イエスはエルサレムの大祭司カイアファの館で不法な裁判を受け、ローマ総督ピラトから死刑を宣告され、十字架を担い、十字架につけられて息を引き取り、墓に納められました。「十字架の道行」は、このイエスの受難の道のを14の場面(留)に分けて、ひとつひとつたどりながら、心に留め、黙想する祈りです。カトリックの信徒にとって、親しまれている祈りの一つで、その起源は古く、初代教会の頃から信徒たちはエルサレムへ行き、イエス・キリストが実際にたどった道のを歩む巡礼を行っていました。中世末期、教会の広がりとともに、聖地エルサレムに行くことのできない信徒たちのために、自分たちの居る場

所でも「道行」をたどることができるように、絵画やレリーフによって祈る「十字架の道行」が設けられました。18世紀、教皇クレメンス12世の頃に、現在の14留の祈りをささげるようになったとされています。

河原町教会の聖堂の南側の窓のステンドグラスに「十字架の道行」の14留と、ご復活(第15留)が描かれています。また、四旬節期間中、両サイドの窓に木製のレリーフが飾られています。

河原町教会では四旬節の間、毎週金曜日午後6時から「十字架の道行」の祈りをしています。主イエス・キリストとともに歩きながら、復活の希望の光を求め、ともに祈りましょう。



「十字架の道行」の木製のレリーフ

大船渡を訪ねて



速水 茂 (河原町教会役員)

■現地を訪ねる

昨年11月下旬、思い立って大船渡を訪れてみた。8月の森田神父の講演(本紙2012年9月号に掲載)で、被災地を実際に見てもらいたいと語っておられたことがずっと頭に残っていたためである。私事多忙を言い訳にせぬよう、仕事を休んで時間を作った。毎週のみさで被災地のために祈り、献金もしているが、どれほどのものが現地の役に立っているか確かめたかったこともある。

レンタカーを借り、空港から内陸を経由して釜石、大船渡を訪れたが、沿岸部までは震災の影響はほとんどみられない。拍子抜けするほどである。ところが、海が見えるころになると風景は一転し、息をのんだ。損壊して鉄骨をさらす大型商業ビルや、住む人のない壊れた建物が散在し、その周囲は海岸から数キロにわたって、ただの地面が広がっている。大阪や神戸の開発中止の埋め立て地が連想される。



解体中のショッピングセンター

■震災から1年8か月が経過するのに、そこはまだ被災地のまま

ほんのわずかな高低差や波の方向で、津波を被らなかった地域が隣接しており、そうした地域はほとんど変わらない日常の風景が維持されていて、残酷なコントラストを形成している。また高台からは、震災がれきが処理されぬままシートで覆われて、学校の校舎が何棟も並んだような形で積み上げられていたり、棟割長屋のようなプレハブの仮設住宅にはいまだに多くの方が生活されていたりするのを目撃した。震災から1年8か月(昨年11月現在)が経過するが、そこはまだ被災地のままであった。



震災がれきの山

■JR鉄道再開の目途たらず

森田神父は所用で留守にしておられたためお会いできなかったが、カリアスジャパン大船渡ベース(地ノ森いこの家)に半年以上住み込みで復

東日本大震災から2年



●時計は3時20分で止まったまま

興支援されているシスターに話を伺うことができた。そこで改めて今は荒地になっている所はもともと住宅や商店が並んでいて、普通の日常生活が営まれていたことを聞いた。広島島の爆心地のことが脳裏をよぎる。

また、大船渡教会のすぐ下にJR大船渡線の踏切があり、前後数メートルだけ線路が切り取られたように残っていたが、鉄道再開の目途はたらず、恒久的にバス輸送に代わる予定とのことだった。もともと過疎地で赤字路線であったため、JRが復旧をあきらめたようだ。



被災した住宅(手前が踏切の残がい)

▼協議事項

・洛東ブロック会議について
宣教師牧に関する長期・短期計画の検討。対応を役員会に一任

・河原町教会総会について

①参加者から、会計資料配付、高齢者のための集いの場、高齢者への対応等の要望があった。(要望に対しては総会の場で、どのような会やザベル訪れ会への参加、情報提供、或いは会の設立の申請をしていただくよう説明)

②今後の総会について総会の主旨を理解していただくために、小教区規約の配付、ホームページへの掲載、総会冒頭での総会規約の説明を行う等改善策を協議

▼部会報告

典礼部…聖堂整理係担当者の決定

財務部…修繕費、エレベーター新設に関する特別献金の検討

広報部…部長に荻野氏選任。巡礼訪問者に対する対応方法策定

施設管理部…会館三階の電話交換室を会議室用に改装したので、小さな集会にご利用ください

教育部…土曜学校、中高生会、エリの集い、黙想会、キリシタン研究会、ザベル訪れ会の各部門報告がなされた
※各部会の活動内容を次回評議会会で確定する

▼その他

墓地管理委員(任期二年)は黒田秀夫さん、高谷房子さんに再任をお願いし、次の委員については衣笠墓苑にお墓のある方から選任を検討

復興の兆しは・・・被災地に足を運んでほしい



大船渡教会 聖堂内

■建物の再建だけでなく 心の癒しも全く途上

長期滞在型のボランティアの方々
が復興支援を継続されているが、いまだに敷地を片づけていて遺品や遺体の一部が見つかることもあるらしい。今後復興が続いても、震災の前の形に戻ることはないのだと痛感した。建造物の再建だけでなく、人の心の癒しも全く途上である。

震災直後に支援に入ったときから、「ありがとう」という言葉はたくさんか



仮設住宅

られたそうだと。ところが、1年半がたつ頃になってようやく、家族・友人を目の前で失う衝撃や、言葉を交わせないまま消息不明になった喪失感を口に出せる方が出てきたことである。悲しみが大きすぎると、これを言葉にすることすら

難しいのだと思う。さらに、若年者層が震災前から少なかったところに、震災で雇用が失われたため一層若い人が流出し、地域の伝統的な祭礼も、外部からのボランティアの手を借りないと運営できないらしい。インド人の神学生が祭り衣装で踊っている写真を見せてもらった。

■復興支援は必ず実を結ぶ

雑感であるが、大船渡では本格的な復興はいまだ途についていないと感じた。目をそらしていた傷の痛みを、心を向けることがようやくできるようになったところである。ただ、神父様やシスター、ボランティアの方々のように、現地に住んで、被災した

人たちに受け入れられながら復興に手を貸すという支援の形は、後退することなく実を結んでいこうと感じた。

■被災地に足を運んでほしい

行ってみたいとわからない、ということも実感できた。これをお読みいただいた方にも是非現地に足を運んでほしい。被災地の姿は去年と今年は違うし、来年はもっと変わってしまう。荒地に雑草が生えて地面を覆うように、時間がたつほど震災の傷は見えにくくなる。それと同時に、神父様方の努力の輪郭も拡散してわかりにくくなる。できるだけ早く大船渡をはじめとする被災地を見に行ってください。

追記になるが、カリタスジャパンの支援施設「地ノ森いこいの家」は、家屋を流された方から大阪管区が買い上げて建造し、いつか支援が終了したときに集会所として地域に寄付する予定とのことである。



カリタスジャパン大船渡ベース「地ノ森いこいの家」

河原町教会 二月評議会報告

▼司祭団より

マクドナル神父様が骨折のために入院されています。

▼行事予定(二月、四月)

世界祈祷日京都集会 三月一日(金)

十三時三十分 河原町教会聖堂

洛東ブロック四旬節黙想会

三月三日(日) 十時 伏見教会

ルワンダ国NGOムリンディ報告会

三月三日(日) 十時半ミサ後

村上眞理雄神父様霊名のお祝い

三月十七日(日) 十時半ミサ

小立花忠助祭 司祭叙階式

三月二十日(水)祝 十一時

式後お祝いの会 ヴィリオンホール

教会美化デー 三月二十四日(日)

十時半ミサ後 ぶどうの会による東

日本大震災復興支援ミサ

聖香油ミサ 三月二十七日(水)十一時

大塚乾隆神学生 助祭・司祭候補者

認定式

聖木曜日 主の晩餐

三月二十八日(木) 十九時

聖金曜日 主の受難

三月二十九日(金) 十九時

聖土曜日 復活徹夜祭

三月三十日(土) 十九時

復活の主日 三月三十一日(日)

十時半 ミサ後親睦パーティー

神のいつくしみの主日 四月七日(日)

子ども初聖体 ミサ後、パーティー

教区新受洗者のミサ

四月十四日(日) 十四時

主日の集いバザー 四月二十一日(日)

十時半ミサ後 前庭広場

●2013年3月～2013年5月の行事予定●

(2013年4月、5月は予定です。変更の場合もあります。)

祝・記念日		行事予定
3/1	金	世界祈祷日京都集会 13時半 聖堂
3/3	日	洛東ブロック四旬節黙想会 10時 伏見教会 ルワンダ国NGOムリンディ報告会 10時半ミサ後
3/10	日	東日本大震災2周年復興祈願ミサ 10時半 / 評議会3月例会
3/17	日	村上真理雄神父様霊名のお祝い 10時半ミサ
3/20	水	小立花忠助祭 司祭叙階式 11時 式後お祝いの会
3/24	日	受難の主日(枝の主日) 教会美化デー
3/25	月	～27日(水) 教区小学生侍者合宿
3/27	水	聖香油ミサ 11時 / 大塚乾隆神学生 助祭・司祭候補者認定式
3/28	木	聖木曜日 主の晩餐 19時
3/29	金	聖金曜日(大斎・小斎) 主の受難 19時
3/30	土	聖土曜日 復活徹夜祭 19時
3/31	日	復活の主日 ミサ 10時半 ミサ後親睦パーティー
4/7	日	神のいつくしみの主日 子ども初聖体 10時半ミサ ミサ後パーティー 評議会4月例会
4/14	日	教区新受洗者のミサ 14時
4/21	日	エリの集いバザー 10時半ミサ後
5/5	日	評議会5月例会
5/19	日	聖霊降臨の主日 南部地区合同堅信式 14時
5/26	日	三位一体の主日 衣笠墓地清掃(1回目)

お知らせ

「ぶどうの会」 山口巡礼のお知らせ

5月28日(火)、29日(水)一泊二日の予定で山口カトリック教会ザビエル記念聖堂、乙女峠マリア聖堂(津和野)、萩キリシタン殉教者記念公園(野外ミサ)等の巡礼ツアーがあります。定員は40名。参加費、日程等の詳細は決まり次第お知らせします。(写真は山口カトリック教会ザビエル記念聖堂)



- ◇3月24日(日)10時半ミサ後、「ぶどうの会」東日本大震災復興支援ミニバザーがあります。
- ◇郵送サービスのお知らせ:「カトリック河原町教会だより」を、教会に来られない信徒の方々のために郵送しています。ご希望の方は郵便番号、住所、氏名を教会事務室まで電話、ファックス、またはメールでお知らせください。
- ◇お願い:ご家庭で眠っている未使用の切手がありましたら、3階教会事務室までお願いします。「河原町教会だより」の郵送に使わせていただきます。

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)	7:00	
	10:30	
	12:00 (英語)	
月曜日	6:30	
火曜日	6:30	18:30
水曜日	6:30	18:30
木曜日	6:30	
金曜日	6:30	18:30
土曜日	6:30	
	18:30 (主日のミサ)	

信仰の学びの講座・集い

どなたでも自由に参加できます。

◆信仰入門講座◆

(場所:1階集会室)

火曜日	10:00	花井 拓夫 神父
	19:15	ボアパール 神父
水曜日	10:00	村上 真理雄 神父
	19:15	ボアパール 神父
	19:00	花井 拓夫 神父
		(3階 応接室)
金曜日	19:15	村上 透磨 神父

◆信徒養成講座◆

(場所:1階集会室)

信仰をより深めたい信徒の方のための講座です。

担当司祭 北村 善朗 神父

テーマ「秘跡を学ぶ」

3月21日(木) 14:00

4月11日(木) 14:00

5月9日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◆聖書通読会◆

(場所:1階集会室)

毎週金曜日 14:30～16:00

毎週1回金曜日、旧約聖書の創世記から始めて、新約聖書の黙示録まで、グループで輪読しながら全巻を読む集いです。途中からでも参加できます。

主催:教育部